

「羽包み(はくくみ)」

第18号 令和元年12月1日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467-58-6260 shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：029 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

長い河の流れの中で

ホーム長 前川 礼彦

人生は長い河の流れのようだ。

僕らはどこから来て、どこに辿り着くのか。

この世で与えられたそれぞれの年月の中で、心を磨き、何かを成し遂げ、生き方を問われているのだとしたら、その答えは人生の終わりに分かるのだろうか。

しかし私は、この一生が全てではないと感じている。

この世に生まれては消え、浮かんでは消えを繰り返し、途方もない長い道のりを進んでいくのではなからうか。限られた年月のこの人生を、一生懸命生き、出逢う人や出来事を通し、心を磨き、一生を通した生き様で心は成長し続けていくのだろうか。

だからあなたにも、自身の心の奥の感覚を信じ、少しでも実りのある人生を全うしてもらいたい。その為に来ることはあるか。何か手伝えることはあるか。全ての関わる人にそう伝えたい。

途方もない長い河にとって、その一生は年月を生きる程、実は短いものなのかもしれない。100年後、僕らは居ない。だから想いを伝え、支えあい、形に残し、未来の世代に繋げていく。そうやって時代は長い河を創ってきた。

生あるものは永遠ではない。別れは寂しく、悲しいものである。

しかし、きっとまたいつか、逢える日はやってくる。

この世で家族として、仲間として、大切な人として、深く出逢った「縁」はきっと形を変えて、また再び逢えると信じている。

昨日よりは今日、今日よりは明日。成果は1年後、5年後、10年後かもしれない。

僕らはそれぞれの場所で、世の中をほんの少しずつ良いものに変えようと努力をしている。自身の働きや生き方が、どこかで誰かの生きる支えとなり、少しでも社会に貢献出来るのなら、この世に生まれた意義も感じるだろうか。

誰しも将来や老後を案じて不安になるかもしれない。しかしその河の流れにはもっと先があるのだろう。今与えられたこの人生の年月を自分らしく精一杯生き続けていけるなら、きっと辿り着くべき所へ辿り着ける。そう思いながら今日を噛みしめて生きているのです。

皆様の人生が潤い、幸せでありますように。いつもホームを支えて下さり感謝を申し上げます。



つばさの家 支援者紹介

最近つばさの家の朝食に、おいしいパンが並ぶことがあります。今回、ご紹介したい支援者は「Pain de Calme (パンドカルム)」というベーカリーです。寄稿ではなく、お店にお邪魔し、取材という形で少しお話を伺いました。お忙しい中、お時間を頂きありがとうございました。

茅ヶ崎の松ヶ丘、鉄砲通り沿いにパンドカルムさんはあります。ご夫婦でお店を開いています。お店には可愛らしい水色の玄関ドアがあります。10時の開店と同時に、お店のカウンターにはたくさんの種類のパンが並べられていました。ご主人が真夜中から仕込みを始め、朝に焼くのだそうです。一日に40種類ほどのパンが焼かれます。お店の前にベンチがあり店内に無料のコーヒーポットも用意されています。暖かい日はゆっくり座ってパンを食べたくなります。



パンドカルムさんは昨年12月1日に開店されました。奇遇にも、つばさの家の開所日と同じ日です。お店を開店される前、ご夫婦はお2人ともベーカリーのお仕事を長くされていました。「時間を長く発酵させることがおいしさのコツ」とご主人はおっしゃいます。長年かけて培われた技術によって焼かれたパンは、とてもおいしいです。生地のにこだわり、塩分・糖分量を極力控えています。食パンは国産小麦使用で砂糖・油脂・乳・卵不使用。多加水、微量の酵母でゆっくりじっくり発酵させています。

つばさの家のことは別のご支援者様からのご紹介で、知って頂けました。「少しでも力になれば」と暖かい言葉をいただき、たくさんの種類のパンを、つばさの家に届けてくださいます。届いたパンは、いつも少年たちが朝食で美味しく頂いています。

Pain de Calme (パンドカルム) の「Calme」は、フランス語で「穏やか」という意味を持つそうです。お店の名前の由来には、「パンを食べた人が穏やかな気持ちになれるように」という意味が込められていると、お話を伺いました。ご夫婦共に穏やかでパンを買いに行くと奥様の接客に心がホッとさせられます。つばさの家の少年たちも、パンを通じて気持ちを穏やかにさせて頂いています。いつも少年たちの朝食を豊かなものにして下さり、ありがとうございます。改めてパンドカルムさんに感謝申し上げます。



Pain de Calme (パンドカルム)

茅ヶ崎市松が丘 1-10-12

営業時間：平日 10:00~18:00

土日祝日 8:30~18:00

定休日：水曜日

電話番号：0467-81-5007

※つばさの家は支援者の方々が家族や職場・知人に紹介して下さい、支援の輪が広がっていく事が増えています。話題に出して頂ける事、心から感謝致します。



ボランティア紹介

つばさの家は、いつもボランティアの方に助けて頂いています。

今回ご紹介したいボランティアの方は、大学生の大野正雄さんです。大野さんは、とても一生懸命な学生さんで、お願いしている食事作りもどんどん慣れていらっしゃる様子で、少年たちも美味しい夕食を頂いています。最近では学校に興味を持っている少年もおり、学校生活の生の声もお話ししてくださいます。スポーツもできて、是非いつかつばさの家の子に教えて頂ける機会を作れたらと考えております。

「誰かの役に立ちたい」

大野正雄

私がつばさの家を知ったのは、今から8ヶ月程前のことです。何かボランティア活動をしたという思いからボランティアセンターに行き、そこで教えて貰ったサイトを見てみると、つばさの家が募集していることを知りました。それがつばさの家を知るきっかけでした。そして家から施設が近かったこともあり、この施設を選びました。

そこから現在は、週に一度ほどのペースで食事作りのお手伝いをしています。初めの頃は何からすればよいのかが分からず、スタッフの方に聞きながら作っていました。私は農業高校出身ということもあり、料理することは好きですが、大人数の食事作りや家族以外の人に食べてもらうのは初めての経験だったので、美味しいと言ってもらえるかどうかとても不安でした。しかし、作った料理を食べてもらうと、「美味しい」や「私、この味好きだよ」と入所している利用者の方に言って頂くことができました。その言葉で今までの不安が一気になくなり、嬉しい気持ちにいっぱいになりました。今ではスタッフの方にすぐに質問するのではなく、自分で考えながら作ることが、少しずつですが出来るようになりました。

つばさの家での経験や出逢いは私のこれからの力にもなるし、そこにいる方の頭の隅の方でいいので、思い出してもらえような存在になれると嬉しいです。

私たち一人ひとりが、常に誰かの為に何かできる事がないかを考えていけば、大きな力になると思います。そのため、私自身も常にこの事を意識しながら、日々精進して行けたらと思います。





ホームの様子 (2019.7月-11月)

現在、ホームには4人の少年が生活しています。今年は2人が入居し、3人が退居していきました。皆それぞれが様々な思いを抱えながら、暮らしています。

ある少年は大学に行きたいと、夢を持ってつばさの家に入居しました。将来はファッション関係の仕事をしたいと、自身の夢を語っています。とても努力家でもあり、お金を貯めるために毎日休まず出勤しています。大学を受験するために、高校卒業程度認定試験（高認試験）も挑戦しました。現在は17歳なので、来年は受験です。見守りながら応援しています！

ある少年は、今年19歳になりました。穏やかな性格で、つばさの家の雰囲気と和ませてくれます。数年前、親と不和な関係になった彼は、社会に出る準備ができずに家庭から離れざるを得なくなってしまいました。最初は中々仕事に馴染めず転職を繰り返していましたが、今では大きく成長し、頑張っって朝早くから出勤しています。そろそろアパート暮らしも考え、自立へ向けて準備をしていきます。

少年たちそれぞれが思いを持ち、それぞれの自立を目指しています。彼らの思いを受け止めつつ、将来に向けて支えていきたいです。(野田)

つばさ旅行 瀬戸内海 小豆島へ

年一回のつばさ旅行として、今年は香川県の小豆島へ行きました。飛行機で高松まで行き、フェリーで小豆島へ向かいました。小豆島では寒霞溪、二十四の瞳映画村に行きました。帰りの高松では、香川県名物のうどんを頂きました。

今までのつばさの旅行では、最も遠距離の旅行でした。初めて飛行機に乗る少年もいました。



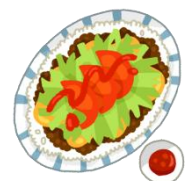
(フェリー上にて)

地元のお弁当屋さんが地の物弁当を作ってくださり、フェリー上で頂きました。フェリーで風を浴びながら食べるお弁当は格別で、少年たちも感動していました。小豆島には中々赴く機会も少なく、少年たちにとっても大変貴重な体験をさせて頂きました。遠距離の旅行を実現できたのも、皆様のご支援のお蔭さまで。厚く御礼申し上げます。

毎年恒例 福祉ふれあいまつり

今年も松浪小学校で開催された福祉ふれあいまつりに、つばさの家も参加しました。例年通りですが、タコライスとケーキを販売しました。少年たちやボランティアの方にもお手伝いもあり、ありがたくもお昼には完売いたしました。たくさんの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。

つばさの家は、地域の行事に参加させて頂いています。少年たちもよく参加させて頂き、いつも暖かくつばさの家を迎えて下さる地域の皆さまに、感謝致します。





OB との関わり

つばさの家が開設されて13年目が経ち、退居したOBの数は年々増えています。久しぶりに夕食を食べに来てくれるOBもいます。先日はつばさの家の最初の入居者が来てくれました。社会経験が乏しく大変な思いをしながら生活していた彼らが、成長して社会で立派に活動している姿を見ると、とても感慨深い気持ちになります。

つばさの家は、退居したあとも一人ひとりとの関わりを継続します。退居後も少年たちがつばさの家に夕食をとりに来たり、つばさの家のスタッフが定期的にアパートを訪問したりしてつながりを続けます。そして、時に彼らがくじけそうになった時は、つばさの家に来所して共に悩み将来のことを考えていきます。

自立援助ホームは自立を準備するホームですが、本番は退居して社会に出てから始まるものでもあります。これからもOBを見守り、時には立派になった姿に励みを頂き、共に寄り添っていきます。(野田)



進学へのご支援、ありがとうございました

前号にて、トリマー専門学校進学のご支援をお願いした少年ですが、今年の春に晴れて進学することができました。今はつばさの家から離れて暮らしていますが、時折来所して夕食を食べに来てくれます。アパート暮らしを始め、仕事と学校の両立に日々奮闘している様子です。学費などのご支援を頂いた皆様には、少年に進学の機会を与えて下さり、大変感謝いたします。本人より、皆様へのメッセージがありますので、掲載いたします。

この度は私の専門学校進学のためにご支援頂きまして、ありがとうございます。支援して頂ける方々がいらっしゃるおかげで、私の夢であるトリマーに一步近づけたことを重ねてお礼申し上げます。

さて、入学から半年ほど経ちましたが、今が入学以来とても忙しい時期です。度重なる実習や授業、生活費を稼ぐためのアルバイトで休まる暇がありません。ですが、同時にとても有意義でもあります。私の知らない知識や技術がどんどん吸収されて自分のものになっているので、しっかりと自分の目指すトリマーに近づいている実感があります。学校で出来た友人たちとの絆を大事にしながら、共に研鑽を積んで行こうと思います。

近々トリマーのC級ライセンス試験があります。忙しい日々ですが、試験に合格できるようにより一層努力していきたいと思っています。

支援して頂ける皆様の期待を裏切らないよう、自分の夢に向かって歩んで行きたいと思っています。これからもご支援の程よろしくお願い致します。(Y)



社会的養育における自立援助ホームの可能性
 ～全国自立援助ホーム協議会 第26回神奈川・横浜大会を終えて～

去る10月8日、9日に横浜にて、自立援助ホームの全国大会がありました。僣越ながら私が大会実行委員長を仰せつかり、大会の企画運営を任されました。全国大会が最初が開かれて、から四半世紀が経ち、当時「自立援助ホームを全国に！」と掲げたスローガンは今や全国に176か所のホームまで増え、空白県はあと僅かとなりました。

全国の児童相談所に寄せられる虐待相談件数は毎年過去最大となり、市町村や警察署に寄せられた数を合わせれば更に増え、児童相談所の相談窓口や一時保護所は飽和状態になっています。保護をされるべき児童が社会に守られず、親の暴力や不適切な環境の中、耐え忍んで生活をしている児童の存在が明るみになりつつあるのです。

この大会ではその様な社会情勢の中、自立援助ホームが求められる役割や可能性を考える研修として240名が参加しました。国の行政説明、現場から見る新たな自立援助ホームのニーズ、伴走支援の実際と講演は続き、交流会では長年自立援助ホームを牽引されて来られた諸先輩方をお招きし、想いを語って頂きました。諸先輩方が一同に会する場、そしてこれからは担う各参加者に諸先輩方の生の声、想いを届ける場を作りたかったのです。

2日目の記念講演では、私の最も尊敬する自立援助ホーム東樹の元ホーム長、龍尾和幸氏（現、岡山県児童養護施設、新天地育児院副院長）にご登壇頂き、「自立援助ホームの未来を探る」と題してご講演を頂きました。私が長年夢と掲げていた事の実現でもありました。冒頭より魂からの叫びの様な語り口に会場の空気は一気に変わり、龍尾氏の生涯を通し、福祉と出会い、自立援助ホームを天職として命を賭けて21年の実践を積み重ねて来られたこと、法制度が整っていないくても目の前に困っている青年がいたら自ら水路を作り、従来の児童相談所のみ入居経路でなく、福祉事務所の生活保護世帯の青年に向けた「通所」、通所も難しければその親を支える「親のカウンセリング」、「福祉施設は地域のオアシスであれ」と、地域の人が思わず寄りたくなる様々な催しなど展開され、その長年の実践の結果、法制度が後から整ってきた事、制度に甘んじる事なく、道を切り開いてきた事などお話を頂きました。最後に児童福祉の父と言われる石井十次の逸話より新島襄(じょう)の言葉、「諸君よ！人一人は大切なり！」の言葉で閉められました。

大会は大反響でした。先達の実践、想いを受け継ぎ、新たな可能性に向け、皆で考え活力を頂き、元気になって帰って頂ける大会となりました。県内ホームの仲間と協議会で共に作り上げたこの大会は、私にとっても一つの節目になりました。

時は令和となり、新たな時代、自立援助ホームが更なる発展を遂げ、未来を担う青年たちが少しでも生きやすくなる社会になっていく様、願って止みません。この大会に関わる全ての関係者皆様に厚く御礼を申し上げます。（前川）



(大会の様子)

ご支援ありがとうございました

ご支援頂いた方の氏名（イニシアル）及び品名（平成30年11月より令和1年10月末まで）

ボランティア (16名)	NS 様、WC 様、ST 様、M 様、ST 様、HK 様、SH 様、HK 様、SH 様、OM 様、YH 様、O 様、茅ヶ崎地区 BBS 会 4 名
物品寄付 (113名)	Y 様 (布団・雑貨)、ZA 様 (みかん・素麺)、SS 様 (食器・食品)、NN 様 (お菓子・パザ-品)、KK 様 (お米)、OK 様 (食器・パザ-品)、MR 様 (お米・柿)、OK 様 (野菜)、MS 様 (みかん)、U 様 (野菜)、G 様 (ハム)、NA 様 (食品)、U 様 (衣類・パザ-品)、IY 様 (調味料・果物)、YH 様 (パザ-品・野菜)、U 様 (パザ-品)、KI 様 (ハム・りんご)、KT 様 (食品)、I 夫妻様(落花生・本)、HK 様 (おもち・素麺)、NM 様 (スキーウェア等)、NH 様 (油)、TH 様 (ねぎ)、A 夫妻様 (みかん・素麺)、Y 様 (りんご)、OY 様 (かまぼこ・お米)、KK 様 (パザ-品)、HM 様 (お米・靴下・朝顔)、IY 様 (お米・落花生)、MN 様 (食品・タオル)、NM 様 (日用品・食品)、KH 様 (油・本)、HA 様 (食品・タオル・お米)、IN 様 (ラーメン)、IA 様 (食品)、N 様 (スキーウェア・おもち)、F 夫妻様 (ラーメン)、MH 様 (お米・食品)、N 様 (かぼん)、AK 様 (しょうゆ)、NJ 様 (卵)、S 様 (食品)、GM 様 (食品)、NT 様 (食品)、K 様 (食品)、OM 様 (モノ)、T 夫妻様 (白菜・ケキ)、Y 夫妻様 (文旦・飲料)、YI 様 (食品)、SM 様 (食品)、KS 様 (タオル・アロマ)、EO 様 (飲料)、NM 様 (ラフランス)、YM 様 (みかん)、NC 様 (スキーウェア・衣類)、KT 様 (食品・衣類)、SS 様 (お菓子)、H 様 (スキーウェア)、MK 様 (食品)、MT 様(衣類)、N 様 (衣類・花)、MY 様 (日用品)、U 様 (食品・日用品)、SS 様 (衣類)、TK 様 (食品)、SK 様 (いよかん)、KY 様 (アイス)、ST 様 (菓子)、DM 様 (食品)、K 様 (布団)、HK 様 (日用品・食品)、S 様 (お菓子)、A 様 (衣類)、Y 家族様 (食品)、IM 様 (肉)、K 様 (お菓子)、KH 様 (マッサージ機)、匿名様 (日用品・食品)、K 様 (お米)、OE 様 (マカ)、US 様 (食品)、S 夫妻様 (ジャム)、S 様 (お米)、WM 様 (菓子)、S 様 (お米)、H 様 (衣類)、K 様 (食品)、T 様 (ハンバーグ)、OM 様 (衣類・食品)、NS 様 (布団)、UK 様 (切手・日用品)、IT 様 (野菜)、SM 様 (さくらんぼ)、KT 様 (じゃがいも)、YW 様 (洗剤)、K 様 (パジャマ)、M 様 (じゃがいも)、A 様 (メモ帳)、Y 様 (食品)、IS 様 (食品)、T 夫妻様 (文房具)、KK 様 (切手)、KJ 様 (果物)、IK 様 (食品・日用品)、FM 様 (お菓子)、IS 様 (さつまあげ)、H 様 (衣類)、Y 様 (梨・ぶどう)、MK 様 (お米・果物)、I 様 (マスク)、S 夫妻様 (お米)、A 様 (パザ-品)、AY 様 (食品・日用品)
寄付金 (63名) ※定期 寄付含む	NT 様、IK 様、SM 様、TI 様、IM 様、MM 様、NC 様、TN 様、YH 様、D 夫妻様、NH 様、AM 様、FM 様、IA 様、WY 様、YM 様、N 様、K 夫妻様、SA 様、MK 様、O 夫妻様、FM 様、KT 様、KI 様、SM 様、GM 様、KN 様、MM 様、HK 様、UM 様、FT 様、NC 様、KK 様、TS 様、G 夫妻様、KY 様、TM 様、YJ 様、IR 様、NN 様、TI 様、MN 様、SA 様、AY 様、IK 様、A 夫妻様、AY 様、IA 様、NJ 様、MM 様、KS 様、YI 様、YM 様、MH 様、NR 様、FS 様、Y 家族様、KS 様、KK 様、US 様、OE 様、AT 様、SA 様
定期寄付 <物品> (18名)	K 夫妻様 (お米・卵)、T 夫妻様 (おまんじゅう・果物等)、SM 様 (食品・衣類)、NT 様 (食品)、KM 様 (お菓子・シューアイ)、NS 様 (食品・日用品)、WC 様 (お菓子・果物・味噌材料)、IT 様 (ごま油)、I 様 (食品他)、HC 様 (ジャンプ)、YI 様 (果物・パン)、AS 様 (文房具・食品)、ST 様 (花・野菜)、OY 様 (野菜)、OY 様 (天美卵・ウインナー)、MM 様 (果物・練もの)、TA 様 (有機野菜)、M 様 (雑誌・衣類)
団体から <金銭、 物品> (35 団体)	ジャパンメンテナンス様、茅ヶ崎オーシャンライオンズ様、茅ヶ崎湘南ロータリークラブ様、イオン様、ダズンジャパンアソシエーツ様、コストコ様、木下造園様、We21 ジャパン寒川様、WE21 ジャパンこのみや様、パントガム様、片瀬にここ広場様、カレス様、おてらおやつクラブ様、フードバンクひらつか様、フードバンクかながわ様、わたぼうし様、セントハーベストジャパン様、カーブス様、茅ヶ崎地区更生保護女性会様、浜須賀民児協様、松浪 1 丁目自治会様、松浪地区社協様、松浪民児協様、元気フォーラム様、サ建設計様、未来文庫様、熊澤商店様、喜楽会様、さがみ生活クラブ生協様、湘南生活クラブ生協様、生協らいふたうんでぽー様、田島電機様、パリュ-湘南様、杜の郷様、山金様、川崎愛児園様、おおいそ学園様、ふくろうの家様、さざなみ様、白十字会林間学校様

支援の継続をお願いします!

いつもご支援ありがとうございます。自立を目指す少年たちを支えていくためには、皆様からのご支援の継続が欠かせません。ご支援をして下さる方は当支援会の会員（無料）として、今後つばさの家の活動報告をさせていただきます。

物品のご支援

食料のご支援は大変ありがたいです。今、つばさの家で切らしている物は「油」、「マヨネーズ、ケチャップ、料理酒、みりん、鶏がらスープの素などの調味料」です。また、朝食でおにぎりに使う「ふりかけ」や、「お茶漬の素」、「ジュース」などがありましたら助かります。野菜、お肉、冷凍食品豆腐や納豆などの日配品のご支援は大変貴重です。OBへの食料支援のためにすぐに食べられるレトルト食品、カップ麺、缶詰などの即席食品を頂けたら幸いです。定期的な食料のご支援は大変助かります。

また、生活用品では「食品ラップ」や「食器洗剤」、「キッチンペーパー」、「トイレットペーパー」、「柔軟剤」等は毎日使うため、切らしやすいです。最近、お風呂が好きな少年が多く、少年たちの入浴を楽しみにできるように「入浴剤」がありましたら嬉しいです。バザーにも出店しており、「小物類」や「タオル」、「石鹸」などがありましたら助かります。また、食料を出品できるバザーでは、「コーヒー」や「乾麺」の売れ行きが良いので、ご家庭で余っているものがありましたらご支援をお願いいたします。

経済的なご支援

将来、大学や専門学校を目指したい少年がおり、学費を貯めていく必要があります。本人の自助努力と並行して、学費のご支援を募っています。また、ホームの足らざる運営費としてのご寄付も大変ありがたいです。（振込み口座は表紙に記載しています。寄付控除の領収書も発行できます。）

ボランティア、求人募集

現在、食事作りのボランティア（月1回～）、またはパートの方（週1回）を募集しています。主に夕方からの3、4時間程度で、夜の時間が難しい方は応相談致します。また、事務経理をお手伝いして下さる方、宿直を行える方、大学生（または院生）で自立支援の現場を勉強されたい方、大歓迎です。正式でなくてもお気軽にお問合せ下さい。少年たちと接することは、必ず力になります。

（編集後記）

つばさの家の裏庭にみかんの木があります。以前は冬でも実が中々ならなかったのですが、近年は毎年のように実がなってくれています。今年も収穫してみんなでつばさのみかんを頂けそうです。令和幕開けの年は事件事故が多発していたようにも思いますが、その中で色鮮やかなみかんの実りは私の中で小さな幸せです。来年は穏やかな年になりますように……。

